

1 調査日 平成 29 年 7 月 27 日（木）

## 2 調査の概要

### (1) 県道大津能登川長浜線（能登川工区）（東近江市）

県道大津能登川長浜線は本県の主要幹線道路であるが、当該区間は狭隘、急勾配の区間で冬季に通行止めが発生するなど、地域から道路整備の要望が寄せられていることから、平成 25 年 3 月に策定された滋賀県道路整備アクションプログラムでも道路改築を行う箇所として位置づけられており、平成 30 年 3 月の部分供用に向けて施工中である。



県内主要幹線道路の改築事業として地域における期待の大きな事業であること、今年度は滋賀県道路整備アクションプログラムの見直しも予定されていることから、

今後の審議の参考として工事の概要と進捗状況について調査を行った。

### (2) 県立伊吹運動場（米原市）

県立伊吹運動場は、昭和 56 年のびわこ国体開催以降、県内ホッケー場のメッカとして数多くの大会等に利用されており、国内トップリーグの西日本社会人リーグの会場としても利用されている県立社会体育施設である。

また、米原市は東京オリンピック・パラリンピックにおけるニュージーランドのホストタウン、関西ワールドマスタースゲームズ 2021 におけるホッケー競技開催地となっている。

については、施設の概要、運営状況およびホストタウンとしての取組状況について調査を行うとともに、ホッケー協会・競技者等と東京オリンピック・パラリンピックの開催効果を取り込む方策、各種大会を見据えた施設整備、ホッケーを通じた交流による地域活性化等をテーマとして意見交換を行った。



(3) 県内スマートインターチェンジ（東近江市、愛知郡愛荘町、長浜市）

滋賀県では、現在3カ所のスマートインターチェンジが整備されているが、他県に比べるとインターチェンジ間隔が広いと、高速道路が通過しているにもかかわらず、インターチェンジが設置されていない市町が存在する。

平成25年3月に策定された滋賀県道路整備アクションプログラムにおいては、高速道路の利便性向上、地域の活性化、物流の効率化等を図るため、従来のインターチェンジに比べて簡易かつ低コストで設置可能なスマートインターチェンジのさらなる導入について検討するとされている。

については、今年3月25日に開通したばかりの小谷城スマートインターチェンジを初めとして、平成25年に開通した湖東三山スマートインターチェンジ、蒲生スマートインターチェンジの概要と整備効果について車内で説明を受けるとともに車内からの視察を行った。

